

第34回田原市男女共同参画推進懇話会 議事録要旨

1 日時	平成30年6月1日（金）午前10時～11時30分
2 場所	田原市役所南庁舎4階 政策会議室
3 出席者	<p>【委員】 森下静子（会長）、太田としゑ、福田佳子、岩瀬貴仁、千賀幸二、鈴木昌俊、川合利法、中神則子、千賀美幸、本田則子、石川恵史、清水直美、永田みよ江 （欠席者：河合雅彦、中神信明、上村ひさ、北野谷充香子、河合郁朋、小川貴夫、土井真紀江）</p> <p>【オブザーバー】 武田圭太</p> <p>【事務局】 河口課長補佐兼係長、内田主事補（大羽企画課長欠席）</p>
4 議事録署名者	太田としゑ、福田佳子
5 会議事項	1 あいさつ 2 副会長の選任 3 報告事項 （1）各委員の取組状況・意見 （2）市の取組 4 議題 （1）平成30年度の重点推進テーマについて （2）平成30年度男女共同参画フェスティバルについて

1 あいさつ

○会長あいさつ（森下会長）

男女共同参画について、みなさんと自由で活発に楽しく議論できればと思うので、どうぞよろしくお願ひしたい。

○オブザーバーあいさつ（武田オブザーバー）

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」は、政治の中にもう少し女性の声を反映させようという考えのもとに立法化された。日本は議会の女性議員の数、比率ともに先進国の中で最低。基本的施策の中で第5条関係の「実態の調査及び情報の収集等」に着目すると、実際はどうなっているかを調べた上での議論は案外少なく、考え方や価値観が先行して現実と乖離する場面が見られる。こういった法律関係にも引き続き注視していただきたい。

○委員及び事務局自己紹介

自己紹介

事務局：懇話会規約及び概要について、資料1-1、資料1-2に沿って説明

2 副会長の選任

会長指名により以下のとおり決定。

決定事項

○副会長：川合利法委員

3 報告事項

(1) 各委員の取組状況・意見

○各委員：資料2について説明

・太田委員

私たちの携わる男女共同参画の方向について

・中神委員

定年退職者等の高齢者の働く場について

・森下委員

ANN講座、市政ほーもん講座の開催について

エミリースティール記者のピューリッツァー賞の受賞について

(2) 市の取組

○石川委員：資料3-1～資料3-4について説明

《説明の要旨》

女性登用率について、審議会等委員の女性比率は平成29年度24.46%から平成30年度26.74%へ上昇している。

市民提案型委託事業のテーマ提示型について、平成29年度は応募が無かったため、事務局で「男女共同参画啓発マンガ」を作成した。

《質疑・意見》

・市職員全体における女性比率はどれくらいか。(委員等)

→ここ近年は女性職員の割合が増えており、5割まではいかないが、4割は超えている。(委員等)

4 議題

(1) 平成30年度の重点推進テーマについて

(2) 平成30年度男女共同参画フェスティバルについて

○事務局：資料5、資料4-1、資料4-2の順で説明

《質疑・意見》

・資料4-1について、「性別」ではなく、やわらかい表現はないか。また、ワールドサーフィンゲームスと男女共同参画フェスティバルのマッチングがピンと来なかった。(委員等)

→・ワールドサーフィンゲームスには世界各国から選手が訪れる。男女共同参画を考える上で多文化共生や国際交流の観点が必要であり、これを機に打ち出してはどうかという案。(事務局)

・性別という表記は、少し強い表現なのかなと思う。(委員等)

- ・自分らしく、男らしく、女らしくという表現はなかなか難しい。(委員等)
- ・ハードルは越えるもので、すでに男女間でハードルがある前提になっている。ハードルより壁やバリアという表現のほうがイメージに近い。(委員等)

決定事項

- 重点推進テーマは、いただいた意見案を活かしながら、事務局で再度案を作成し、第2回の運営部会にて決定することとする。
- フェスティバルは、資料5の(案)のとおり決定。

午前11時30分閉会